

K.S.

※Web公開版は個人名をイニシャル表記にしております。
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
 メディカルカンパニー

【卒業年】2022年3月
 【卒業学科】イスパニア学科
 【出身高校】報徳学園高等学校 / 兵庫県

Johnson & Johnson

FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN



自ら決意して前に進む姿勢は 神戸市外大で身に付きました

Johnson & Johnson
MEDTECH

広報サポーターの活動

オープンキャンパス開催に向けた打ち合わせや準備は、開催年毎にそれぞれ難しさがあり、その困難を乗り越えていくためのスタッフメンバーと交わした議論や、トライアンドエラーは今でも思い出に残っています。掲げたテーマを形にするべく集まった40人ほどのメンバー全員で、数カ月前から準備をして臨んだオープンキャンパス当日はあっという間に過ぎていきましたが、「無事にこの日を迎えることが出来た」という達成感とはとても心地よかったです。当時リーダーを務めてくれた同期が流した涙も、今は素敵な思い出として残っています。



▲広報サポーターとして活動中の1枚

Study

お勤めになっている企業のことを教えてください

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニーは、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療機器部門を担っており、幅広い診療領域向けに医療機器やソリューションを提供しています。私が所属しているセレノバス事業部では、脳血管内治療に特化した医療機器を扱っています。事業部名の「セレノバス」は、ラテン語の「脳(CERE)」と「新しい(NOVUS)」に由来しています。

現在の仕事内容について詳しく教えてください

主に脳血管疾患の治療に貢献するセレノバス事業部にて、営業職として医師・医療従事者に対し、製品の提供を行っています。また、安全適正使用に向けた情報提供や治療戦略の提案から、患者様の※QOL改善に向けたソリューションを提供しています。

現在は福岡県と大分県を担当しており、上述のような取り組みに加えて、当社が注力しているEvidence Basedなコミュニケーション(国内外の文献に基づいた治療戦略の提案)を通じて、顧客に信頼していただき、納得感を持っていただけるよう尽力しています。

※QOL (Quality of life「生活の質」)



▲顧客との打ち合わせの様子

神戸市外国語大学を選択した理由は?

高校2年生の夏休みの時に、神戸市外大のオープンキャンパスに参加したことがきっかけでした。大学の雰囲気やお話した先輩方から刺激を受け、「自分も絶対にここで学びたい!」と決意したことを今でも覚えています。高校3年生になり、受験に本腰を入れる頃にはイスパニア学科を志望していました。当時、アメリカにおけるヒスパニック系移民の増加問題がニュースに取り上げられており、将来的なスペイン語の有用性を自分なりに感じていたのだと思います。

大学在学中に取り組んでいたことは?

広報サポーターに所属し、オープンキャンパスの開催・運営に携わっていました。私が神戸市外大を目指すきっかけとなったオープンキャンパスに、今度は自分が高校生たちを迎え入れ、受験勉強のことや神戸市外大のことについてお話できることに大きなやりがいを感じていました。

オープンキャンパスで話した高校生の方が、翌年、大学の食堂で「私、外大に入学できたんです!」と声を掛けてくれたときは本当に嬉しかったです。

大学在学中の一番の思い出は?

「学問」に没頭できたことが思い出です。特に、スペインのサラマンカ大学翻訳学部への交換留学では有意義な時間を過ごすことができました。学部の授業は難しく、予想以上に単位を落としました。一方で、自らの好奇心の赴くままに勉強できたことが幸せでした。

具体的には、幕末から明治期にかけて日本に取り入れられた外来語が、その後いかに日本人の暮らしに馴染んでいくかを調べてみたり、西洋と東洋の美的感覚の違いを宗教や哲学に置き換え、比較したりしながら学ぶことに夢中でした。

サラマンカ大学での1枚▶



学生生活で今の仕事に結びついていることは?

少し抽象的ではありますが、「自分自身でこの先を決めていく姿勢」だと思っています。私は神戸市外大の「大学を4年で卒業してしまうなんて、もったいないくない?」みたいな雰囲気がとても好きでした。ある学生は留学や※ワーキングホリデーに行き、またある学生は地球の裏側を旅しに出かけ…ふと気づけば自分も留学・休学を選択し(卒業年度を2年もずらして)、自らの意思にまっすぐに学生生活を過ごしました。

話を今に戻すと、外資系企業で働いていて求められることは「自分の意見を持つこと、発信すること、そして行動すること」だと感じています。今の営業という職種では尚更、自分のカラーを出していかなければなりません。そのためには自分自身は今後数年間を何のために費やすのか、自ら決意して前に進む姿勢が大事なのだと思います。振り返ってみると、自ら選択したその先には思い通りにいかないことの方が多かったですが、それも自分なりの経験として今に活きていると思います。

※ワーキングホリデー(日本が協定を結んでいる国や地域で、働きながら一定期間の休暇を過ごすことができる若者限定の制度)



▲会社の仲間たちとの1枚

今後の夢や目標など教えてください

短期的目標としては、顧客である医師・医療従事者に信頼され、パートナーと思っただけの存在になることです。冒頭で説明した通り、私の仕事は人の命に関わる製品を扱っています。医療従事者の方々が命を救う場面で、安心して使用して頂くには、まずは私自身を信頼してもらうことが何よりも大切だと思っています。

明確な長期的目標はまだありませんが、当社のグローバル企業の強みを生かし、世界をフィールドに仕事ができたら楽しいだろうなと思っています。